

【科目名】 言語聴覚学演習Ⅲ (臨床)		【担当教員】 倉智、大平、佐藤、阿志賀 (窓口：佐藤厚) 研究室 E 棟 2 階 (メールアドレス) a.satou@nur.ac.jp (オフィスアワー)木曜以外							
【授業区分】 専門分野 (特論)		【授業コード】 5-33-1265-0-2							
【開講時期】 4 年次 通年		【選択必修】 選択							
【単位数】 2		【コマ数】 15							
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 臨床現場 (リハビリテーション科) で必要な事務的知識や診療報酬等について説明します。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 特になし。									
【講義概要】 (目的) 言語聴覚療法を展開するうえで必要な知識 (施設基準、診療報酬、カルテ管理など) や、臨床をしていくうえで必要な知識 (リスク管理など)、さらには職能団体や関連学会の紹介などを行う。 (方法) 講義形式で行う。									
【一般教育目標(GIO)】 ・勤務先の臨床活動に必要な知識 (診療報酬、事務的処理、リスク管理など) を身につける ・言語聴覚士という職種がどのような社会的役割を持ち、どのような方向へ進んでいくべきかを考察することができる。 【行動目標(SBO)】 ・言語聴覚士に必要な施設基準、診療報酬、事務的処理を理解する。 ・職能団体、関連学会を把握し、それぞれの活動内容などを理解する。									
【教科書・リザーブドブック】 特になし。 プリントを配布します。									
【参考書】 講義で紹介します。									
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は本学学則規定の G P A 制度に従う。									
【達成度評価】		試験	小テ スト	レポート	成 果 発表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合		50				50			100 点
評	取り込む力・知識	30				20			50

平成 26～28 年度入学者用

価値指標	思考・推論・創造の力	20				10			30
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力					20			20
	学修に取り組む姿勢								

【授業日程と内容】

回数	講義内容	授業の運営方法	学修課題(予習・復習)	時間(分)
1	リスク管理(言語聴覚療法におけるリスク管理)	講義など		
2	リスク管理(疾患ごとの急変予測)	講義など		
3	リスク管理(遭遇しやすい症状とその対処法)	講義など		
4	診療録、紹介状の記載方法と管理	講義など		
5	言語聴覚士協会と関連学会	講義など		
6	臨床現場で求められる能力	講義など		
7	臨床現場における言語聴覚療法以外の活動(委員会活動など)	講義など		
8	症例報告と学会発表	発表など		
9	施設基準について	講義など		
10	施設基準について	講義など		
11	診療報酬・医療保険算定条件	講義など		
12	診療報酬・医療保険算定条件	講義など		
13	診療報酬・介護保険算定条件	講義など		
14	診療報酬・介護保険算定条件	講義など		
15	まとめ	講義など		

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。